

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

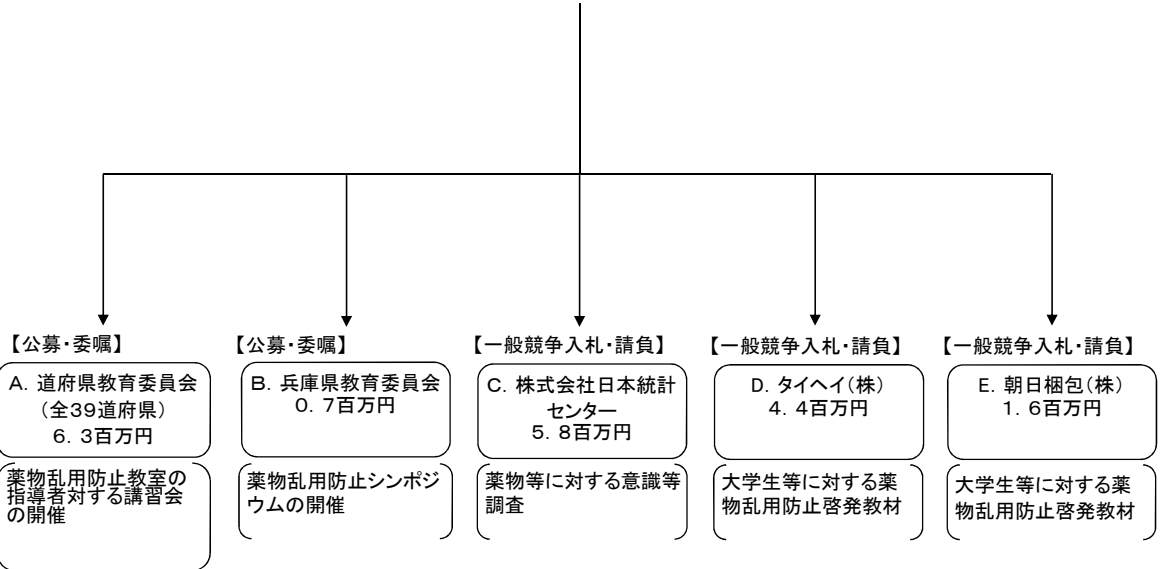
事業名	薬物乱用防止教育推進事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度・未定		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩		
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	・第3次薬物乱用防止五か年戦略 (平成20年8月薬物乱用対策推進本部決定) ・薬物乱用防止教育の充実について (20文科ス第639号平成20年9月17日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校等における薬物乱用防止教育を充実させ、青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	薬物乱用防止教育の充実を図るため、大学生向けの啓発教材の作成等を行うとともに、薬物乱用防止教室の取組優良事例集の作成、薬物等に対する意識調査、高校生用教育教材(DVD)の作成を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	△1	△1	△0.4			
		繰越し等	-	-	-			
		計	33	43	30.4	25.4	21.5	
	執行額	16	26.2	20.9				
	執行率(%)	48.5%	60.9%	68.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	少年の覚醒剤事犯の検挙人員		成果実績	件	228	185	148	120
			達成度	%	52.6	64.9	81.1	
	少年の大麻事犯の検挙人員		成果実績	件	164	82	66	50
			達成度	%	30.5	61	75.6	
	少年のMDMA等合成麻薬事犯の検挙人員		成果実績	件	33	19	7	5
		達成度	%	15.2	26.3	71.4		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①薬物乱用防止教室の開催校と開催率		活動実績 (当初見込)	開催数	24,093(69.3%) (24,500)	25,613(70.3%) (28,000)	26,519(72.6%) (28,000)	- (28,000)
	②シンポジウム開催数		活動実績 (当初見込)	箇所	1 (1)	1 (1)	1 (1)	- (1)
	③大学生向け啓発教材作成部数		活動実績 (当初見込)	部数	1,400千 (1,400千)	1,410千 (1,400千)	1,356千 (1,400千)	- (1,400千)
単位当たりコスト	①238(円/開催校) ②677,273(円/開催数) ③4.5(円/部)		算出根拠	①単位当たりのコスト=薬物乱用防止教室開催のための経費(6,304,927円)/開催校数(26,519) ②単位当たりのコスト=シンポジウム開催のための経費(677,273円)/開催数(1) ③単位当たりのコスト=啓発教材作成のための経費(6,051,045円)/部数(1,356,000)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2.6百万円	2.6百万円					
	職員旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	委員等旅費	4.8百万円	4.7百万円					
	教職員研修費	17.8百万円	14.0百万円					
	計	25.4百万円	21.5百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	薬物乱用防止五か年戦略に基づき、国として薬物乱用防止教育の充実を図っていく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募及び一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保した。また、委託等に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について厳正にチェックしている。 不用率が大きくなっている理由は、一般競争入札を実施した結果、契約価格が予定を大幅に下回ったこと等による。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	薬物乱用防止教育シンポジウムや薬物乱用防止教室を開催するとともに、大学生用啓発教材の作成・配布により、薬物乱用防止教育の充実を図った。 少年の薬物関係事犯の検挙数は減少しており、着実に成果が上がっていると認められる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・事業の予算額と執行額に乖離が見られるため、翌年度の予算規模・事業内容については、各年度の執行状況等を踏まえ、より効率的・効果的なものとなるよう、十分に検討する必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、学校等における薬物乱用防止教育を充実させ、青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上を図る事業であり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：当該事業は、平成22年度、平成23年度決算を踏まえ、平成24年度予算において一定の見直しを実施し、予算の縮減を図ったが、平成24年度決算で不用額が生じていることから、不用額が生じた詳細な要因を分析したうえで、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>本事業については、支出先の選定に当たって、十分な公告期間を確保した上で公募及び一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。その結果、契約価格が当初の予定を大幅に下回ったものと分析しているが、平成26年度以降も同様の取組を継続して実施するものとし、また平成24年度決算で生じた不用額を踏まえ、概算要求に▲5百万円反映した。</p>					
備考						
<p>○内閣府HP(薬物乱用対策) http://www8.cao.go.jp/souki/drug.html</p> <p>○薬物乱用防止教育の充実について(20文科ス第639号平成20年9月17日) http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1297196.htm</p> <p>○薬物乱用防止教室推進マニュアル～教育委員会における取組事例～ http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1297198.htm</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0089	平成23年	0316	平成24年	0339

文部科学省
20.9百万円

委員等旅費 0.1百万円
教職員研修費 1.8百万円
その他 0.2百万円 } を含む

大学生向けの啓発教材の作成等を行うとともに、
薬物乱用防止教室の取組優良事例集の作成、薬
物等に対する意識調査、高校生用教育教材(DV)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.道府県教育委員会			E.朝日梱包(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略		通信運搬費	啓発教材梱包発送	1.6
計		0	計		1.6
B.兵庫県教育委員会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略				
計		0	計		0
C.株式会社日本統計センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	薬物等に対する意識等調査	5.8			
計		5.8	計		0
D.タイヘイ(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	啓発教材印刷	4.4			
計		4	計		0

支出先上位10者リスト

A. 薬物乱用防止教育推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉県教育委員会	小学校・高等学校の担当教職員、大学准教授等による、実践発表、学校における薬物乱用防止教室の進め方等に関する講習会を実施。	0.4	委嘱	—
2	埼玉県教育委員会	薬剤師、専門家等による学校薬剤師講師育成、薬物乱用防止教室研修会を実施。	0.4	委嘱	—
3	茨城県教育委員会	厚生局麻薬取締官、学校薬剤師等による、薬物乱用防止対策・薬物規制、学校における薬物乱用防止教育の考え方・進め方等に関する講習会を実施。	0.3	委嘱	—
4	栃木県教育委員会	栃木県麻薬取締員、医師等による薬物乱用防止教育等に関する講習会を実施。	0.3	委嘱	—
5	長野県教育委員会	県警本部職員、専門家等による、薬物乱用防止対策、薬物乱用防止教育等に関する講習会を実施	0.3	委嘱	—
6	熊本県教育委員会	県警本部担当者、医師等による、少年薬物乱用の現状、薬物依存症の回復等に関する講習会を実施。	0.2	委嘱	—
7	島根県教育委員会	県警本部職員、大学准教授等による、薬物乱用防止教室、薬物乱用防止教育の進め方等に関する講習会を実施。	0.2	委嘱	—
8	山形県教育委員会	大学教授、薬剤師等による薬物乱用防止教育等に関する講習会、シンポジウムを実施。	0.2	委嘱	—
9	鹿児島県教育委員会	大学教授、薬剤師等による薬物乱用防止教室等に関する講習会を実施。	0.2	委嘱	—
10	石川県教育委員会	大学教授、麻薬取締官等による薬物乱用防止教育等に関する講習会を実施。	0.2	委嘱	—

B. 薬物乱用防止教育シンポジウム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兵庫県教育委員会	薬物乱用防止教育シンポジウムの開催	0.7	委嘱	—

C. 薬物等に対する意識等調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本統計センター	薬物等に対する意識等調査	5.8	9	83.55%

D. 大学生等に対する薬物乱用防止啓発教材印刷

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	タイハイ(株)	啓発教材印刷	4.4	5	62.86%

E. 大学生等に対する薬物乱用防止啓発教材梱包発送

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	朝日梱包(株)	啓発教材梱包発送	1.6	4	80.96%